

● コースの説明

コースの概要・学習量・目的	TOEIC の概要を知り、本番で慌てないようにするための基礎講座です。全 7 回の講座で、本番よりやや易しめの模擬試験 1 回分を解きます。問題演習を通して、今の力で解ける問題を探し、その問題に確実に正解するための解法や、今後の学習の仕方などを学びます。
コースの目標	① TOEIC テストの問題形式、点数を取りやすいパートを中心とした解法など、入門的な知識を得る ② 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る
コースの目標スコア (目安)	500 点
使用テキスト (1 冊)	早川幸治・ロス・タロック『新形式問題対応 TOEIC テスト 直前対策模試』(語研、1,100 円) https://www.goken-net.co.jp/catalog/card.html?isbn=978-4-87615-312-1 ※ お手数をおかけしますが、 初回授業日までに必ずテキストをご用意ください 。登校の予定がある方は中央大学生協が開店していた場合は置いてあることがあります。また、一般書店でも購入できますが、書店に常に大量に在庫している書籍ではありません。ご都合の良い書店にご注文いただくか、Amazon 等のネット書店でお早めにご準備ください。また、出版社のサイトから直接購入も出来ます。
1 回の授業の流れ	次項に示したスケジュールに沿って、本番と同形式の問題を少しずつ解きます。1 回の授業で大体大問 (TOEIC では Part と呼びます) 1 つを終えることを目指しますが、当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は翌週に回す、宿題にするなどの変更を加える場合があります。ご了承ください。
予習・復習	<input type="checkbox"/> 予習…不要。復習に力を入れましょう。 <input checked="" type="checkbox"/> 復習…講義内容の確認、音読、模試問題集の直しなどをお勧めします。
注意事項	① 遠隔開催となります。次の 2 点についてご了承ください。1) 録画・配信の予定はありません。講義は会議ツール Webex または Zoom を使用した同時双方向型授業 となります。2) セキュリティを考慮して、Webex や Zoom にログインされる際は 本名でのログイン をお願いします。ハンドルネームなど、どなたかわからないお名前でのログインされた場合、講師が会議室への入室を許可しない・または会議室から削除する場合があります。 カメラやマイクの on/off は学生のみなさんのご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断 します。担当講師の指示に従ってご参加ください。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、 テキストをお早めにご準備ください 。また、Webex、Zoom は音質の面で十分でないことがあります。 テキスト付属の音源はあらかじめパソコン等にインストールしておく と便利です。 ③ 教科書の問題の方には、書き込みをしない方が復習の際便利です。書き込みは解説ページにしましょう。 ④ 遅くとも講座前日午前 9 時までに、manaba を通じて、Webex や Zoom のミーティング URL、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内 します。 ⑤ 上記の目標スコアはあくまで目安です。500 点を前提として授業を進めますが、大切なことは参加者のみなさんの意欲です。

● 講座のスケジュール…こちらに示した模試問題集の進度は大まかなデザインです。**授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えます**ので、講師の指示に従ってください。また、manaba にマークシートなど必要資材ををアップロードします。ご必要に応じて、あるいは講師の指示に従って、無理のない範囲でプリントアウト・閲覧をしながら学習してください。

授業週	模試問題集のパートと問題番号		講義のポイント
Week 1	Part 1 & 2	1-31	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・TOEIC テストリスニングセクション概論 ・Part 1 と Part 2 のスコアアップのコツ（このコツのことを、test-taking strategy と言います）
Week 2	Part 3	32-70	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 3 の test-taking strategy
Week 3	Part 4	71-100	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 4 の test-taking strategy ・リスニングセクションまとめ
Week 4	Part 5	101-130	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC テストリーディングセクション概論 ・Part 5 の test-taking strategy
Week 5	Part 6	131-146	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 6 の test-taking strategy
	Part 7 (1)	147-157	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 7 の test-taking strategy（シングルパッセージ前半について）
Week 6	Part 7 (2)	158-175	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 7 の test-taking strategy（シングルパッセージ後半について）
Week 7	Part 7 (3)	176-200	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 7 の test-taking strategy（マルチプルパッセージについて）

以上です。

※月曜日と木曜日のコースは、同じテキストを使用します。月曜日のクラスはテキストの Test 1（前半）を、木曜日のクラスは、Test 2（後半）を学習します。

● コースの説明

コースの概要・学習量・目的	全 7 回の講座で、最新の公式問題集の半分 (TOEIC1 回分、200 問) を学習します。本番同様の問題演習を通じて、高スコア獲得のためのコツを学びます。また、受講者一人一人が自身の弱点を発見する手助けをし、今後の学習のヒントを得られるような短期講座を目指します。
コースの目標	① TOEIC テスト全般について幅広い知識を得る ② 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る
コースの目標スコア (目安)	600 点
使用テキスト (1 冊)	ETS『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7』(国際ビジネスコミュニケーション協会、3,300 円) ※最新版の 7 を使用します。青色の表紙です。 https://www.iibc-global.org/toEIC/support/prep/lr_ud_07/pr.html ※ お手数をおかけしますが、 初回授業日までに必ずテキストをご用意ください 。登校の予定がある方は、中央大学生協が開店していた場合は、通常在庫があり、生協に加入していれば割引価格で購入できるはずですが、登校の予定がない方は、最新の公式問題集ですので、一般の書店でも幅広く在庫しています。ネット書店でも購入できます。
1 回の授業の流れ	次項に示したスケジュールに沿って、本番と同形式の問題を少しずつ解きます。1 回の授業で大体大問 (TOEIC では Part と呼びます) 1 つを終えることを目指しますが、当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は翌週に回したり、宿題となることがあります。ご了承ください。
予習・復習	<input type="checkbox"/> 予習…不要。復習に力を入れましょう。 <input checked="" type="checkbox"/> 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。
注意事項	① 遠隔開催となります。次の 2 点についてご了承ください。1) 録画・配信の予定はありません。講義は会議ツール Webex または Zoom を使用した同時双方向型授業 となります。2) セキュリティを考慮して、Webex や Zoom にログインされる際は 本名でのログイン をお願いします。ハンドルネームなど、どなたかわからないお名前でのログインされた場合、講師が会議室への入室を許可しないあるいは教室からの削除をする場合があります。 カメラやマイクの on/off は学生のみなさんのご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断 します。担当講師の指示に従ってご参加ください。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、 テキストをお早めにご準備ください 。また、Webex、Zoom は音質の面で十分でないことがあります。 テキスト付属の音源はあらかじめパソコン等にインストールしておく と便利です。 ③ 遅くとも講座前日午前 9 時までに、manaba を通じて、Webex や Zoom のミーティング URL、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内 します。 ④ テキストは問題と解説に分冊されています。問題編には、書き込みをしない方が復習の際便利です。書き込みは解説編の方にしましょう。 ⑤ 上記の目標スコアはあくまで目安です。730 点を意識して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。

● 講座のスケジュール…こちらに示した問題集の進度は大まかなデザインです。**授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えます**ので、講師の指示に従ってください。また、manaba にマークシートなど必要資材をアップロードします。ご必要に応じて、あるいは講師の指示に従って、無理のない範囲でプリントアウト・閲覧をしながら学習してください。

授業週	問題集のパートと問題番号		講義のポイント
Week 1	Part 1 & 2	1-31	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・TOEIC テストリスニングセクション概論 ・Part 1 と Part 2 のスコアアップのコツ（このコツのことを、test-taking strategy と言います）
Week 2	Part 3	32-70	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 3 の test-taking strategy
Week 3	Part 4	71-100	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 4 の test-taking strategy ・リスニングセクションまとめ
Week 4	Part 5	101-130	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC テストリーディングセクション概論 ・Part 5 の test-taking strategy
Week 5	Part 6	131-146	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 6 の test-taking strategy
	Part 7 (1)	147-157	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 7 の test-taking strategy（シングルパッセージ前半について）
Week 6	Part 7 (2)	158-175	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 7 の test-taking strategy（シングルパッセージ後半について）
Week 7	Part 7 (3)	176-200	<ul style="list-style-type: none"> ・Part 7 の test-taking strategy（マルチプルパッセージについて）

以上です。

● コースの説明

コースの概要・学習量・目的	全 7 回の TOEIC テストの単語と文法にフォーカスするコースです。具体的には、毎時範囲を決めて単語テストを行い、TOEIC Part 5 の問題（空所補充問題です。TOEIC の大問の中では比較的取り組みやすいセクションです）を沢山解きます。これにより、TOEIC の世界（出題されやすい英文のトピックやテスト範囲）に慣れつつ、受講者自ら自身の弱点を発見し、今後の学習のヒントを得られるようにします。学期中の講座ですので、負担感が少なめかつスコアアップの手がかりが得られるような短期講座を目指します。
コースの目標	① TOEIC テストの語彙と文法を初・中級レベルでカバーする ② 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る
コースの目標スコア（目安）	600 点
使用テキスト (2 冊、約 2,000 円)	① (単語帳) TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』（朝日新聞出版、979 円）※『金フレ』と呼ばれることが多いです。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 ② (Part 5 問題集) 神崎正哉、Daniel Warriner 著、『TOEIC L&R TEST Part 5 特急 420 問ドリル』（朝日新聞出版、880 円） https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=21862 ※ お手数をおかけしますが、 初回授業日までに必ずテキストをご用意ください 。中央大学生協や一般の書店で幅広く取り扱いがあり、在庫しているはずですが、ネット書店でも購入できます。ただし、一つの書店に何十冊と在庫している本ではありませんので、お早めにご準備ください。
1 回の授業の流れ	次項に示したスケジュールに沿って、単語と Part 5 の問題を少しずつ解きます。当日扱う問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は翌週に回したり、宿題となることがあります。ご了承ください。
予習・復習	□ 予習…次頁の案内に従って、単語テストの準備をしておいてください。問題集の予習は不要です。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。
注意事項	① 遠隔開催となります。次の 2 点についてご了承ください。1) 録画・配信の予定はありません。講義は会議ツール Webex または Zoom を使用した同時双方向型授業 となります。2) セキュリティを考慮して、Webex や Zoom にログインされる際は 本名でのログイン をお願いします。ハンドルネームなど、どなたかわからないお名前でのログインされた場合、講師が会議室への入室を許可しないあるいは会議室からの削除をする場合があります。 カメラやマイクの on/off は学生のみなさんのご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断 します。担当講師の指示に従ってご参加ください。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、 テキストをお早めにご準備ください 。また、Webex、Zoom は音質の面で十分でないことがあります。 テキスト付属の音源はあらかじめパソコン等にインストールしておく と便利です。 ③ 遅くとも講座前日午前 9 時までに、manaba を通じて、Webex や Zoom のミーティング URL、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内 します。 ④ テキストは問題と解説に分冊されています。問題編には、書き込みをしない方が復習の際便利です。書き込みは解説編の方にしましょう。 ⑤ 上記の目標スコアはあくまで目安です。600 点を意識して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。

● 講座のスケジュール…こちらに示した問題集の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「金フレの範囲」について

単語帳、『金のフレーズ』は要予習です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。毎日各時限の開始時に『金のフレーズ』を使用して、manaba上で単語テストを行います。問題は1範囲につき10問・選択式でmanaba上に設置します。解答時間等は講師が指示しますが、3-5分の予定です。続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編としてTOEIC頻出語1000語(1-1000番)、その補足として付録が5部(Supplement 1-5)収録されています。この語彙・文法(基礎)コースでは、本編の1番~800番と、Supplement 3と4をテストします。つまり、下表「金フレの範囲」にある数字は、単語番号とSupplementの番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1番から200番が、「Supplement 3」とあるものはSupplement 3がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。

※ 下表「Part 5 特急の範囲」について

問題集『Part 5 特急』は予習不要です。授業中に計時して解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。『Part 5 特急』はSet 1-14の14セットから成ります。1つのセットには30問が収録されています。これは本番のPart 5と同じ問題数です。一回の授業で2セット60問を解くことを目指しますが、授業の状況により、扱いきれないこともあるかと思えます。その場合、宿題や次週の学習範囲となります。

授業週	金フレの範囲	Part 5 特急の範囲	講義のポイント・メモ欄
Week 1	Supplement 3 (前置詞・接続詞・接続副詞)	Set 1 と 2	・オリエンテーション ・前置詞・接続詞・接続副詞についての講義
Week 2	1-200	Set 3 と 4	・Part 5 の Test-taking Strategy ・Part 5 特急 pp.9-18 『パート 5 の問題タイプ』
Week 3	201-400	Set 5 と 6	演習と講義 (以下最終日まで同じ)
Week 4	401-600	Set 7 と 8	
Week 5	601-700	Set 9 と 10	
Week 6	701-800	Set 11 と 12	
Week 7	Supplement 4 (多義語)	Set 13 と 14	

以上です。

中央大学国際センター主催 2021 年度 春学期 TOEIC 講座 2021 年度新設 **語彙・文法強化（応用）** コース シラバス

● コースの説明

コースの概要・学習量・目的	全 7 回の TOEIC テストの単語と文法にフォーカスするコースです。具体的には、毎時範囲を決めて TOEIC の単語テストを行い、TOEIC Part 5 と 6 の難易度高めの厳選した問題（単文・長文の空所補充問題です。TOEIC の大問の中では比較的取り組みやすいセクションです）を丁寧に解きます。これにより、TOEIC の世界（出題されやすい英文のトピックやテスト範囲）に慣れつつ、受講者自ら自身の弱点を発見し、今後の学習のヒントを得られるようにします。学期中の講座ですので、負担感が少なく、かつスコアアップの手がかりが得られるような短期講座を目指します。
コースの目標	① TOEIC テストの語彙と文法を中・上級レベルでカバーする ② 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る
コースの目標スコア（目安）	730 点
使用テキスト (2 冊、約 2,000 円)	① (単語・例文集) TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のセンテンス 』(朝日新聞出版、979 円) ※姉妹書の金のフレーズや金の熟語ではありません。 金の「センテンス」 です。お間違えのないようお願いいたします。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=20759 ② (Part 5 と 6 の問題集) 加藤優著、『TOEIC L&R TEST 900 点特急パート 5&6』(朝日新聞出版、924 円) ※ 900 点というとちょっと怖い感じがしますが、難易度高め、引っかけ問題が多数収録された本です。授業では 730 点を目指す大学生向けの講義を行いますので、安心してください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=19348 ※ お手数をおかけしますが、 初回授業日までに必ずテキストをご用意ください 。中央大学生協や一般の書店で幅広く取り扱いがあり、在庫しているはずですが。ネット書店でも購入できます。ただし、一つの書店に何十冊と在庫している本ではありませんので、お早めにご準備ください。
1 回の授業の流れ	次項に示したスケジュールに沿って、単語と Part 5 と 6 の問題を少しずつ解きます。当日扱う問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は翌週に回したり、宿題となることがあります。ご了承ください。
予習・復習	<input type="checkbox"/> 予習…次頁の案内に従って、単語テストの準備をしておいてください。問題集の予習は不要です。復習に力を入れましょう。 <input checked="" type="checkbox"/> 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。
注意事項	① 遠隔開催となります。次の 2 点についてご了承ください。1) 録画・配信の予定はありません。講義は会議ツール Webex または Zoom を使用した同時双方向型授業 となります。2) セキュリティを考慮して、Webex や Zoom にログインされる際は 本名でのログイン をお願いします。ハンドルネームなど、どなたかわからないお名前でごログインされた場合、講師が会議室への入室を許可しないあるいは会議室からの削除をする場合があります。 カメラやマイクの on/off は学生のみなさんのご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断 します。担当講師の指示に従ってご参加ください。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、 テキストをお早めにご準備ください 。また、Webex、Zoom は音質の面で十分でないことがあります。 テキスト付属の音源はあらかじめパソコン等にインストールしておく と便利です。 ③ 遅くとも講座前日午前 9 時までに、manaba を通じて、Webex や Zoom のミーティング URL、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内 します。 ④ テキストは問題と解説に分冊されています。問題編には、書き込みをしない方が復習の際便利です。書き込みは解説編の方にしましょう。 ⑤ 上記の目標スコアはあくまで目安です。730 点を意識して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。

● 講座のスケジュール…こちらに示した問題集の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「金のセンテンスの範囲」について

単語・例文集、『金のセンテンス』は要予習です。下表の「金のセンテンスの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。毎日各時限の開始時にこの『金のセンテンス』を使用して、manaba上で単語テストを行います。問題は1範囲につき10問・選択式でmanaba上に設置します。例文の構文・意味・例文中のターゲットになっている単語を意識的に予習しておいてください。解答時間等は講師が指示しますが、3-5分の予定です。続いて、テスト範囲の説明をします。『金のセンテンス』は、大きく分けてStation 1-4までの4セクションに分かれています。春学期講座ではStation 1と2に収録されている200個の例文を学習します。例文には番号がつけられており、下表「金のセンテンスの範囲」は例文番号に言及したものです。目次を併せてご覧いただくと分かりやすいかと思います。

※ 下表「Part 5 特急の範囲」について

問題集『900点特急』は予習不要です。授業中に計時して解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。『900点特急』は1st Round-Bonus Questionsの7セクションから成ります。1つのセットには20問前後が収録されています。少なく感じるかも知れませんが、「正解した」だけではダメで、難問・難文を丁寧に学習し、授業で取り上げる英文に一つもわからないことがないという状態を目指しましょう。この講座は場数よりも独りでは取り組みにくい丁寧な学習に重点を置いています。

授業週	金のセンテンスの範囲 (例文番号)	900点特急の範囲	講義のポイント・メモ欄
Week 1	(Station 1) 1-30	1st Round	オリエンテーション
Week 2	31-60	2nd Round	Part 5 の Test-taking Strategy
Week 3	61-90	3rd Round	Part 6 の Test-taking Strategy
Week 4	(Station 1 から 2 へ) 91-120	4th Round	演習と振り返り
Week 5	121-150	5th Round	演習と振り返り
Week 6	151-180	Final Round	演習と振り返り
Week 7	180-200	Bonus Questions	まとめ

以上です。

● コースの説明

コースの概要・学習量・目的	全 7 回の講座で、本番と同レベルの TOEIC リーディングの問題を 2 回分学習します。多くの受験者にとって、リーディングは目標達成を阻む大きな壁です。このコースは、本番同様あるいは時にそれ以上のレベルの問題演習と、受験・指導経験共に豊かな講師の精密な助言により、受講者一人一人が正答率を極限まで高めるための自己分析を行い、近い将来、受講者のみなさんが超大学生級のハイスコアを達成するための助けとなるような短期講座です。
コースの目標	① TOEIC テスト全般について幅広い知識を得る ② 高い正答率達成のための自己分析が出来るようになる ③ 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る
コースの目標スコア (目安)	860 点～
使用テキスト (1 冊)	YBM TOEIC 研究所『TOEIC テスト YBM 超実践模試リーディング 500 問 Vol. 1』(朝日出版、2,200 円) https://www.asahipress.com/bookdetail_lang/9784255011882/ ※ お手数をおかけしますが、初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。登校のご予定がある方は、中央大学生協が開店していた場合は、大抵取り扱いがあり、生協に加入していれば割引価格で購入できるはずですが、登校のご予定がない方は、一般の書店・ネット書店でも購入できます。出版されて間もない本ですので、比較的入手はしやすいかと思いますが、1 つの書店に何冊も在庫している本ではありません。お早めのご準備をお願いいたします。 ※ 2020 年度秋学期の同講座の続きのコースとなります。そのため、本講座ではテキスト収録の 5 模試のうち、昨年度の続きの Test 3 と 4 を学習します。さらに、講師の判断で時間に余裕があれば Test 5 を扱います。しかし、2020 年度のコースの受講は前提ではありません。そのため、講義の内容が一部重複します。ご了承ください。
1 回の授業の流れ	毎時間本番と同形式の問題を解きます。予習は不要です。当日扱うパートについては講師の指示に従ってください。問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、扱いきれなかった問題は翌週に回す、宿題にするなどの変更を加える場合があります。
予習・復習	□ 予習…不要。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。
注意事項	① 遠隔開催となります。次の 2 点についてご了承ください。1) 録画・配信の予定はありません。講義は会議ツールの Webex または Zoom を使用した同時双方向型授業 となります。2) セキュリティを考慮して、Webex や Zoom にログインされる際は 本名でのログイン をお願いします。ハンドルネームなど、どなたかわからないお名前でのログインされた場合、講師が会議室への入室を許可しないまたは会議室から削除する場合があります。 カメラやマイクの on/off は学生のみなさんご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断します 。担当講師の指示に従ってご参加ください。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。 お手数ですが、テキストをお早めにご準備 ください。 ③ 遅くとも講座前日午前 9 時まで に、manaba を通じて、Webex や Zoom のミーティング URL、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内します。 ④ 上記の目標スコアはあくまで目安です。860 点～900 点を意識して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。